

日本心理学会「注意と認知」研究会は、第20回記念研究会を開催します。今年度は横澤一彦先生（研究会代表、東京大学）の退職記念行事との共同開催になります。

つきましては、研究会で発表する注意と認知についての演題を募集します。

発表をご希望の方は、2022年1月11日（火）までにE-mailにてお申込み下さい（お申込み方法は下記参照）。発表の採否は1月21日（金）頃までにE-mailにてお知らせします。なお、応募者多数の場合には若手研究者を優先します。

発表採択者には2月21日（月）までに2ページ以内の研究会資料の原稿をお送りいただきます。詳細は1月下旬の2号通信にてお知らせします。

皆様のご応募を心よりお待ちしております。

## 記

### ■概要

日 時：2022年3月13日（日）～15日（火）

13日（日） 横澤一彦先生の退職記念行事

14～15日（月～火） 注意と認知研究会：研究発表、シンポジウム

場 所：対面（東京都内）＋オンラインのハイブリッド開催（予定）

目 的：注意と認知に関わる研究者の研究発表（口頭発表）と討論の場を提供する。議論を通して研究者同士の親睦を深める。

東京都内での対面発表を実施する場合、宿泊先の確保は参加者各自でお願い致します。（例年と異なり、合宿担当者による宿泊予約の取りまとめは行いません）

新型コロナウイルスの感染状況によっては、対面発表を取りやめ、全てのプログラムがオンライン開催となる可能性があります。

詳細については、参加費に関する情報も含めて2号通信でお知らせできる見込みです。

### ■発表申込（2022年1月11日締切）

発表は全て口頭発表（発表15～20分、質疑応答15～10分）。

1人30分の枠内で質疑の時間を十分に取るため、15分程度での発表を推奨します。

発表内容は自身の研究データに基づいたもの（発表済みの内容も可）とします。

文献紹介・レビュー等は認められませんのでご注意ください。

また今年度は研究発表の件数を、例年よりも少なくする可能性があります。

演題募集テーマ：

- ・ 注意や記憶の特性
- ・ オブジェクト認知と情景理解
- ・ 視覚と行為の相互作用
- ・ 感覚間相互作用
- ・ 魅力・情動・美感
- ・ 感覚間協応と共感覚
- ・ 知覚と認知一般

下記のフォームよりお申し込みください。

第20回注意と認知研究会発表申込

<https://forms.gle/Zp8QVkJkepK8XSLt9>

(お申し込み後、受付確認のメールが自動で送信されますので、ご確認ください。  
しばらく経っても受付メールが届かない場合、申込時のメールアドレスを再度ご確認の上、[aandc.camp@gmail.com](mailto:aandc.camp@gmail.com) までご連絡ください。)

締め切り：2022年1月11日（火）

#### ■参加申込

発表者以外の方の記念研究会への参加お申し込みにつきましては1月下旬より受付致します。詳細は2号通信にてお知らせします。

#### ■スケジュール

2022年1月11日 発表申し込み〆切

2022年1月21日 採否の通知（応募者多数の場合は若手を優先します）

2022年1月下旬 参加申し込み受付開始（2号通信）

2022年2月半ば 参加申込〆切

2022年2月21日 研究会資料原稿〆切

注意と認知研究会 <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/AandC/>

代表者： 横澤一彦（東京大学）

運営委員（五十音順、\*合宿担当）：

浅野倫子（立教大学）、石松一真（滋慶医療科学大学院大学）、

伊丸岡俊秀（金沢工業大学）、上田祥行（京都大学）、

小川洋和（関西学院大学）、\*奥村安寿子（一橋大学）、金谷翔子、

河原純一郎（北海道大学）、熊田孝恒（京都大学）、

蔵富 恵（岐阜聖徳学園大学）、齋木 潤（京都大学）、  
武田裕司（産業技術総合研究所）、\* 伝保昭彦（成蹊大学）  
中島亮一（東京大学）、新美亮輔（新潟大学）、  
西村聡生（安田女子大学）、松本絵理子（神戸大学）、  
光松秀倫（名古屋大学）、Li Qi（東京大学）

\* お問い合わせは以下のアドレスまでお願い致します。

E-mail: <aandc.camp@gmail.com>